



消化器内科 シリーズ

第7回

消化器内科部長・内視鏡室長

村木 むらき

崇 たかし

日本では年間約13万人の人が胃がんに罹患し、約5万人が胃がんで命を失っています。大腸、肺と共に3大がんの一つです。具体的にいうと現在10人に1人以上が生涯胃がんになり、30人に1人は胃がんで亡くなります。

胃がん・食道がん

Q. 胃がん、食道がんで死なないためには？

A. 胃がん健診を受けましょう！

現在、胃がん検診の受診率は約40%程度です。半数以上の方が受けておりません。

胃がん検診を受けることで胃がん死亡率を下げることが証明されています。胃がん検診を受けましょう。

ご予約先・健康管理課 0261-61-1181

Q. 胃がん検診はバリウム検査、胃カメラどちら？

A. 胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）を受けましょう！

胃がん発見率は、バリウム検査（胃X線検査）では内視鏡の1/3程度です。可能な限り、内視鏡検査をお勧めします。

Q. 胃カメラは苦しくてやだ！

A. 是非、ご相談下さい！

現在、内視鏡は細く柔らかくなり、以前ほど苦痛はありません。ですが、胃カメラは嫌だ

という方はご相談下さい。眠り薬や経鼻内視鏡で胃カメラを行うことができます。

Q. ピロリ菌がない人（いなくなった人）は、胃がんにならない？

A. そんなことはありません！

ピロリ菌を除菌しても胃がんになる可能性を半減することもできません（除菌した年齢、胃炎の程度によります）。また、最近ピロリ菌が生涯いない人の胃がんが若干増加傾向です。さらにピロリ菌がない人は、いる人よりもバレット食道がんの罹患率が若干高めです。除菌を行っても、ピロリ菌が生涯いない人も定期的な内視鏡検査をお勧めします。

Q. やっぱり、早期発見は大事？

A. 粘膜内がんが発見されれば、多くは胃を切らずに内視鏡で切除できます！

粘膜内がん（胃の表層である粘膜内に癌がとどまっているがん）であれば、特殊なタイプのがんや潰瘍併発でなければ転移の可能性はほぼ0%であり、内視鏡でがんの部分だけ切除してしまえば根治となります。胃自体を切除す

図1：胃壁の構造

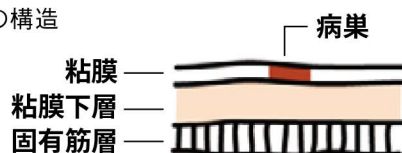


図2：内視鏡的粘膜下層切開剥離術



胃がん



内視鏡的切除後

るわけではないので内視鏡的切除後もこれまでも通りお食事をとることができます。当院では5日入院で行っています。当院では内視鏡的粘膜下層切開剥離術を導入後、1週間に1〜2人内視鏡的切除しており、半年で20人以上の胃がん・食道がんを内視鏡的切除しております。